

■しずだい産学連携メールマガジンVol. 33

2010年9月21日発行 【毎月第3火曜日】

⇒静大産学連携広報より、お知らせやイベント情報をお届けします。
<http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/>からもご覧いただけます。

★今回の“静大ラボ紹介”は、山川俊貴先生です。

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

1. はままつデジタル・マイスター養成プログラムシンポジウムご案内
2. 「イノベーション・ジャパン2010」で展示・発表します
3. 静岡大学「第9回アントレプレナー講演会」を開催します
4. 「休日パテントセミナー2010in静岡」のご案内

※問合せ先のアドレスは、スパムメール防止のため表記を一部変更しています。メール送信の際は○欄に@を入れてください。

1. はままつデジタル・マイスター養成プログラムシンポジウムご案内
「デジタルプロセスによるものづくり技術革新」

日時 2010年9月25日(土) 13:30~18:30
会場 静岡大学 浜松キャンパス 佐鳴会館会議室
主催 静岡大学工学部
内容 講演1「鍛造技術開発の動向とデジタル技術の活用」
大阪大学 名誉教授 小坂田 宏造 氏
講演2「板材成形における3D-CAD/CAM/CAE/CAT技術の活用」
広島大学 教授 吉田 総仁 氏
総合討論
参加費 無料
交流会 時間 17:30~18:30 会場 高柳記念未来創造館
詳細 http://www.eng.shizuoka.ac.jp/digital_meister/H22sympo.pdf
問合せ/申込 静岡大学工学部産学連携室
TEL 053-478-1757 FAX 053-478-1005
E-mail thmakiz@ipc.shizuoka.ac.jp

2. 「イノベーション・ジャパン2010」で展示・発表します

日時 2010年9月29日(水) 13:00~17:30
9月30日(木) 10:00~17:30
10月1日(金) 10:00~17:00
会場 東京国際フォーラム(東京:有楽町)
主催 科学技術振興機構、新エネルギー・産業技術総合開発機構
静岡大学の展示・新技術説明会
【ものづくり】
○「液体の危険物を調べるためのX線検査装置」
電子工学研究所 准教授 青木徹
◆新技術説明会: 9/30(木) 11:20-11:40
■ショートプレゼン: 9/29(水) 16:02
○「ものの硬さや柔らかさを触らずに測定する測定器」
工学部電気電子工学科 教授 犬塚博
◆新技術説明会: 9/30(木) 14:00-14:20
■ショートプレゼン: 9/29(水) 16:00

【新エネルギー・省エネルギー】

- 「バイオマス+プラスチック廃棄物からの高カロリー粉末燃料」
創造科学技術大学院 教授 佐古猛
◆新技術説明会：9/30（木）12:40-13:00
■ショートプレゼン：9/30（木）16:12

【医療・健康】

- 「がんの早期発見・早期治療の為の高機能医用材料開発」
創造科学技術大学院 特任教授 山下光司
◆新技術説明会：10/01（金）13:00-13:20
■ショートプレゼン：9/30（木）12:06
- 「長寿命・低コストな心拍数ワイヤレスモニタ」
工学部電気電子工学科 助教 山川俊貴
◆新技術説明会：10/01（金）13:20-13:40 ※発表のみ

詳細/申込 <http://expo.nikkeibp.co.jp/innovation/2010/>
静大問合先 静岡大学学術情報部産学連携チーム 担当：増田
TEL053-478-1667 E-mail invjp10@cjr.shizuoka.ac.jp

3. 静岡大学「第9回アントレプレナー講演会」を開催します

日時 2010年11月11日（木）15:00~17:00
会場 静岡大学 浜松キャンパス 佐鳴会館
主催 静岡大学イノベーション共同研究センター
講演タイトル「踏み出して見える世界、ベンチャーマインドを胸に！」
講師 (株)システムインテグレータ 代表取締役社長 梅田弘之 氏
[1980年 静岡大学工学部電子工学科卒業]
交流会 時間 17:00~18:00
会場 静大浜松キャンパス内 高柳記念未来創造館
参加費 全て無料
申込み <http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/center/eventlog/no81.html>
問合先 静岡大学イノベーション共同研究センター
ベンチャー支援ネットワーク室 担当 原田
TEL 053-478-1713 E-mail antre@cjr.shizuoka.ac.jp

4. 「休日パテントセミナー2010in静岡」のご案内

【静岡会場】静岡市クリエイター支援センター
第3回「意匠・商標の中間処理」
日時 2010年10月2日（土）13:30~16:00
講師 東山喬彦弁理士
第4回「著作権入門」
日時 2010年10月16日（土）13:30~16:00
講師 野末寿一弁護士、弁理士（静大 知財マネージャー）

【浜松会場】浜松労政会館
第2回「明細書の書き方読み方使い方」
日時 2010年9月25日（土）13:30~16:00
講師 居藤洋之弁理士（静大 知財アドバイザー）
第3回「特許庁審査官から見た特許審査」
日時 2010年10月9日（土）13:30~16:00
講師 神谷直慈弁理士（静大 知財本部特任准教授）
第4回「著作権入門」
日時 2010年10月30日（土）13:30~16:00
講師 野末寿一弁護士、弁理士（静大 知財マネージャー）

主催 日本弁理士会東海支部
定員 60名
参加費 無料
詳細/申込 http://www.jpaa-tokai.jp/topics/detail_157_0.html

《 静大ラボ紹介 -18- 》

工学部電気電子工学科 山川俊貴 助教
<http://www.ipc.shizuoka.ac.jp/~ttyamak/>

普段あまり意識しない“心臓の動き”かもしれませんが、最近の研究で、心拍の間隔を精度良くかつ長期間測定して統計処理することで、身体のような状態を知ることができるとわかってきました。例えば、歳と共に心拍間隔の“ゆらぎ”が減少していくので、この“ゆらぎ”を数値化すれば「心臓年齢」を推定できるとか、心拍がトントンツの3拍子になると十数分で心臓が停止する可能性がある等。

山川先生は、そんな心拍を長期間モニタリングする装置を独自技術で開発しました。超小型の上、ボタン電池で100時間以上も駆動するすぐれモノです。装着者の負担が小さいので様々なシーンでの応用が期待できます。

若くてアグレッシブな山川先生は、他にも医工連携に関する研究テーマに次々チャレンジしています。

現在、浜松・東三河地域は医工連携を推進していますが、まさにそのニーズに応える気概ある先生です。今後の活躍に期待しています。

(記：知財コーディネーター 神谷直慈)

《 みんなのコラム 》

“産学連携のあり方”

自動車産業を中心に、光計測機器や開発試験機関連の製造に携わって二十余年。商品技術向上のため、静大をはじめ多くの大学・研究機関と共同研究開発をおこなっています。

なかなか成果を出せずに苦しんできましたが、その主原因は産業界と大学との間の文化の違い・立場の違いに起因するものです。

同じ日本の中で共に真剣に研究開発に勤しんでいるものの、その環境・流れている時間など、そこには大きなギャップが存在します。

その中でうまく行ったケースを振り返ると、お互いに相手の立場に立って、協力する姿勢をしっかりと打出した時のように思います。

企業は大学の特質を理解して、そこに期待する点を明確に絞り込むこと。そして、大学は企業側のニーズを把握して、企業側の言葉で語る努力をすること。

大学側から考えると、企業はある意味お客様。当たり前のことではありますが、CS：カスタマーサティスファクションという言葉で再認識する必要があるのかも知れません。

(記：静岡大学知的財産マネージャー、
(株)スペースクリエーション代表取締役 青木邦章)

《 編集後記 》

先日、内部研修で『新規商品事業の創出』と題した企業出身コーディネーターの講演を皆で聴講しました。

全く新しい製品を世に出すために超えなくてはならなかった数々の障害。プロジェクトメンバーの熱意でこれらを克服し創りあげたという喜び。ものづくりにかける技術者の真骨頂を見た思いでした。

「企業の方から大学の技術に対しNoと言われてもその理由は様々。技術的な問題が理由でない場合も多々ある。企業の事情をわきまえた上で、市場や経済等、その時世の中がどうなっているかという常識を持つことが大事。産学連携はこれら多様な要素をわきまえて取り組めば効果が大い。」との言葉に、社会そして産業界にアンテナをはりつつ対話することを大切にしていかななくては。と感じました。

* - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * -

◆メールマガジンに関するお問合せ・配信先変更・担当者変更・
配信中止のご連絡は、sangakukoho5@cjr.shizuoka.ac.jp まで
お願いします。(↑送付の際は○欄に@を入れてください。)

◆本メールマガジンの商業用の転載はお断りいたします。

発 | 行 | 者 |

国立大学法人静岡大学イノベーション共同研究センター (IJRC)
編集：原典子
編集責任者：木村雅和
〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1
TEL 053-478-1414
URL <http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/>

* - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * -
Copyright (c) 2008-2010 Innovation and Joint Research Center,
Shizuoka University. All rights reserved